




# アメリカカンザイシロアリの特徴

	ヤマトシロアリ、イエシロアリ	アメリカカンザイシロアリ
分布	ヤマトシロアリ(北海道の一部を除き全国) イエシロアリ(神奈川県以西の沿岸部)	関東以西の沿岸部に点在
加害材	湿った木材	乾いた木材
建物への侵入方法	・地下から蟻道を作り侵入 ・羽アリの飛翔により侵入	・輸入家具等からの持ち込み(地下からは侵入しない) ・羽アリの飛翔により侵入
羽アリの飛翔	特定期(6月頃)に多数で数回飛翔(最大約100m飛翔)	少数ずつほぼ通年で飛翔(大半は2～3m飛翔)
コロニーの成長と構成員数	コロニーの成長は早く、数万～数百万匹で大きなコロニー形成	コロニーの成長は遅く、最大数千匹で小さなコロニー形成
被害家屋のコロニー数	多くは1個	1～数十個
駆除方法	・コロニーに薬剤散布 ・毒餌による防除	・柱等の木材に穿孔し薬剤注入 ・家全体を覆い燻煙
画像	 <p>イエシロアリ</p>	 <p>アメリカカンザイシロアリ</p>  <p>米俵状の糞とカンザイシロアリ</p>
アメリカカンザイシロアリの特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体長は、羽アリ約6～8mm 兵アリ8～11mmと大きめ。</li> <li>・生きていくのにほとんど水分を必要とせず、乾燥した木材で十分生きられる。</li> <li>・糞(1mm程度の大きさ)の形状は米俵状で、特徴的な線がみられ、硬い。</li> <li>・シロアリが木材に開けた、2mm程度の画びょうを刺したような穴から糞を排出し、砂状に積もることが多く、これにより被害が発見されることが多い。</li> <li>・砂状の物がシロアリの糞とは気づかずに清掃してしまい、被害の発見が遅れることもある。</li> </ul>	

※ 画像は横須賀市自然・人文博物館提供